

≫≫ 新着資料案内 新しく受入れた資料をご案内いたします

■ 松竹系 5月 演劇公演資料 ■

○ …… 受入済み

劇場	演目	台本	スチール	プログラム	ポスター
歌舞伎座	『鶴亀』		○		
	『菅原伝授手習鑑 寺子屋』	○	○		
	『三人吉三巴白浪 大川端庚申塚の場』	○	○		
	『伽羅先代萩 御殿・床下』	○	○	○	○
	『夕霧伊左衛門 廓文章 吉田屋』	○	○		
	『梶原平三誉石切 鶴ヶ岡八幡社頭の場』	○	○		
	『京鹿子娘二人道成寺 道行より鐘入りまで』	○	○		
新橋演舞場	第八十九回東をどり			○	
	『音楽劇 ザ・オダサク』	○	○	○	○
明治座	『源平布引滝 実盛物語』	○	○		
	『与話情浮名横櫛 見染・赤間別荘・玄治店』	○	○		
	『将軍江戸を去る』	○	○	○	
	『藤娘』		○		
	『湧昇水鯉滝 鯉つかみ』	○	○		
南座(京都)	『新歌舞伎十八番の内 高時』	○			
	『太刀盗人』	○		○	○
	『歌舞伎十八番の内 鎌鼬』	○			
	『慙紅葉汗顔見勢 伊達の十役』	○			
松竹座(大阪)	『音楽劇 ザ・オダサク』	○		○	○

[ポスター閲覧ご希望の際は事前に御予約をお願いいたします]

■ 映画プログラム ■

- |                                   |                              |                  |
|-----------------------------------|------------------------------|------------------|
| 『シネマ落語 落語研究会 昭和の名人 五』             | 『死霊のはらわた』                    | 『アンナ・カレーニナ』      |
| 『聖☆おにいさん』                         | 『映画はなかつぱ 花さけ! パッカ〜ん♪蝶の国の大冒険』 |                  |
| 『愛さえあれば』                          | 『ナオト・インティライミ冒険記 旅歌ダイアリー』     |                  |
| 『モネ・ゲーム』                          | 『シュガー・ラッシュ』                  | 『脳男』             |
| 『コドモ警察』                           | 『だいじょうぶ3組』                   | 『県庁おもてなし課』       |
| 『図書館戦争』                           | 『オズ はじまりの戦い』                 | 『レッド・ライト』        |
| 『ダイ・ハード/ラスト・デイ』                   | 『ヒッチコック』                     | 『ゼロ・ダーク・サーティ』    |
| 『カルテット! 人生のオペラハウス』                | 『アイアンマン3』                    | 『リンカーン』          |
| 『映画クレヨンしんちゃん バカうまっ! B級グルメサバイバル!!』 |                              | 『ジャッキー・コーガン』     |
| 『名探偵コナン 絶海の探偵 (プライベート・アイ)』        |                              | 『めめめのくらげ』        |
| 『世界にひとつのプレイブック』                   | 『プラチナデータ』                    | 『野蛮なやつら/SAVAGES』 |
| 『パラノーマン ブライス・ホローの謎』               | 『バチェロレッテ -あの子が結婚するなんて!』      |                  |
| 『映画ドラえもん のび太のひみつ道具博物館 (ミュージアム)』   |                              |                  |

(新着資料案内 続き)

■ 映画資料 ■

○ …… 受入済み

タイトル	プログラム	プレス	ポスター	スチール写真	台本
『クロユリ団地』	○	○	○		○
『バレット』	○	○	○		
『はじまりのみち』	○	○	○		○
『ハル』	○				

≫≫ 新規登録資料案内 新しく登録した資料をご案内いたします

■ 演劇雑誌 ■

- |   |                              |
|---|------------------------------|
| 『a a f通信』2013年5月(37号)                                 | 『上方芸能』2013年6月(188号)          |
| 『あぜくら』平成25年5月号(558号)                                  | 『神奈川芸術プレス』2013年6月-7月 Vol.112 |
| 『舞台芸術』Vol.17 Spring 2013                              | 『国立演芸場公演ガイド』平成25年6月号         |
| 『舞踊芸術』2013年6月号(480号)                                  | 『ミュージカル』2013年5月-6月号          |
| 『Confetti』2013年JULY, JUNE, 特別号<br>「大人の麦茶×ゲキハロ『ごがくゆう』」 | 『日本芸術文化振興会ニュース』平成25年6月号      |
| 『Confettiかわら本』2013年6月号                                | 『日本照明家協会誌』2013年5月号           |
| 『伝統文化新聞』2013年(84号)                                    | 『日本舞踊』65巻6月号                 |
| 『演劇ぶっく』2013年6月号No.163                                 | 『大向う』平成25年5月号, 6月号           |
| 『演劇界』2013年7月号   | 『ラ・アルプ』2013年6月号              |
| 『悲劇喜劇』2013年6月号  | 『ステージぴあ』2013年5-6月号(05)       |
| 『邦楽の友』平成25年6月号  | 『匠の技 歌舞伎座をつくる』9号             |
| 『ほうおう』2013年7月号  | 『テアトロ』2013年6月号               |
| 『歌舞伎 研究と批評』2013年(49)                                  | 『the座』2013年74号               |
|   | 『シアターガイド』2013年7月号            |

■ 映画雑誌 ■

- |                            |                        |
|----------------------------|------------------------|
| 『ドラマ』2013年6月号(408号)        | 『ムービー・スター』2013年7月号     |
| 『映画テレビ技術』2013年6月号(730号)    | 『NFCカレンダー』2013年6月-9月号  |
| 『映画芸術』2013年春号(443号)        | 『日経エンタテインメント!』2013年6月号 |
| 『映画撮影』2013 May No.197      | 『ロケーションジャパン』2013年6月号   |
| 『映画秘宝』2013年7月号(165号)       | 『SCREEN』2013年7月号       |
| 『衛星劇場プログラムガイド』2013年6月号     | 『シナリオ』2013年6月号, 7月号    |
| 『エキブ・ド・シネマ』2013年No.194     | 『シナリオ教室』2013年6月号       |
| 『キネマ旬報』2013年5月下旬号, 6月上旬号   | 『松竹(社報)』2013年(175号)    |
| 『京橋映画小劇場 KYOBASHI-ZA』No.26 | 『東映キネマ旬報』Vol.21        |

■ 他社演劇公演資料 ■

- |                |    |                             |
|----------------|----|-----------------------------|
| 青山劇場           | 4月 | 『アニー Annie』プログラム            |
| 吉祥寺シアター        | 4月 | とくお組『近未来パーク』プログラム           |
| 紀伊國屋サザンシアター    | 4月 | 劇団民藝『夏・南方のローマンス第二部』プログラム、台本 |
| 国立劇場小劇場        | 4月 | 『明日をになう新進の舞踊・邦楽鑑賞会』プログラム    |
| シアターコクーン       | 4月 | こまつ座&ホリプロ『木の上の軍隊』プログラム      |
| シアタートラム        | 4月 | 劇団俳優座『とりつくしま』プログラム、台本       |
| 下北沢OFF・OFFシアター | 5月 | 酒とつまみ『もうひとり』プログラム           |
| 下北沢「劇」小劇場      | 5月 | 植吉劇場『松ぼっくりⅢ』プログラム           |
| 新国立劇場中劇場       | 4月 | シス・カンパニー『今ひとたびの修羅』プログラム     |
| セーヌ・フルリ        | 5月 | 花組芝居『婦系図』プログラム、台本           |
| 世田谷パブリックシアター   | 5月 | 『MANSA I解体新書その貳拾貳 「息」』プログラム |

(新規登録資料案内 他社公演演劇資料 続き)

東京芸術劇場プレイハウス	4月	『おのれナポレオン』プログラム
博多座	5月	『女たちの忠臣蔵』ポスター
パルコ劇場	4月	『レミング 世界の果てまで連れてって』プログラム
文学座アトリエ	4月	文学座『十字軍』台本
本多劇場	4月	劇団鳥獣戯画『モダン歌舞伎 好色五人女』プログラム

## ≫≫ ご寄贈いただきました

2013年5月8日

関根孝子様より、お母様の関根富美子様が集めておられた少女歌劇などの演劇資料（スチール写真49枚、プログラム14冊、図書3冊、雑誌8冊）をご寄贈いただきました。貴重な資料として大切に活用させていただきます。どうもありがとうございました。

## ≫≫ 資料提供（2013年4月～5月）

※許可を得た方のみ掲載しております

### 図書掲載

- 『新版 歌舞伎』河竹登志夫著 東京大学出版会（再版）  
演劇スチール『源氏物語 若紫の巻』（昭和26年3月歌舞伎座上演）を挿図として使用

### 雑誌掲載

- 月刊『東京人 特集：歌舞伎』2013年5月号 都市出版株式会社  
『演芸画報』昭和9年9月号グラビア（「出雲道中膝栗毛」水中の場）を、記事「歌舞伎と東京人 インタビュー河竹登志夫さん」の文中に使用

### プログラム掲載

- 第29回四国こんびら歌舞伎大芝居プログラム 2013年4月公演  
『舞台のおもかげ・市川左團次』掲載グラビア（「鳥辺山心中」）を、記事「歌舞伎あ・ら・かると」の文中に使用

### 展示

- 菊田一夫記念館（岩手県奥州市）常設展示コーナー  
映画『鐘の鳴る丘』ポスター（複製・2枚）を、前年度に引き続いて今年度も展示
- 歌舞伎座ギャラリー「歌舞伎の美 春」 2013年4月24日～6月30日  
第4期歌舞伎座の毎各年4月の筋書の表紙を画像として展示に使用

### 放送

- 『にっぽんの芸能 没後120年・河竹黙阿弥の世界』NHKEテレ 2013年4月12日22:00～22:58  
『歌舞伎座初興行辻番付』（明治22年11月「黄門記幼童講釈」他）を、河竹黙阿弥と歌舞伎座の関わりについての説明にあわせて使用
- 『NHKスペシャル 歌舞伎座新開場』NHK総合テレビ 2013年5月5日21:00～21:49  
（再放送：2013年5月13日0:10～1:00）  
歌舞伎映画『勸進帳』弁慶の映像の一部を、松本幸四郎丈が話をするところで使用
- Eテレアーカイブス『知るを楽しむ 私のこだわり人物伝 寺山修司～私と彼のただならぬ関係』NHK Eテレ2013年5月5日0:25～（2006年の番組の再放送）  
『東横劇場プログラム』掲載写真（「双頭の鷲」昭和43年10月）を使用
- 『中国放送RCCニュース6「映画図書館の紹介」』RCC中国放送（TBS系列）2013年5月7日18:15～18:55（番組中の約5分間のコーナー）  
広島の某映画館が設立を検討している映画図書館を取り上げる特集の中で、先行の映画図書館として当館が取材を受けました。

## 第34回 松竹大谷図書館所蔵資料展示

### 「第四期歌舞伎座」展

展示期間：2013年5月31日～6月26日 於：松竹大谷図書館閲覧室

3ヶ月連続の歌舞伎座特集もいよいよ大詰！今月は第四期歌舞伎座(昭和26年～平成22年〔1951～2010〕)の資料をご紹介します。

大正14年〔1925〕1月、漏電による火災と関東大震災による罹災から復興し新開場した第三期歌舞伎座でしたが、20年後の昭和20年〔1945〕5月、3ヶ月後の終戦を待たずして、空襲により焼失してしまいます。物資が乏しい戦後の再建は、第三期の歌舞伎座以上に困難を極め、焼け残った外壁や、火を入れなおした鉄骨を再利用し、昭和26年〔1951〕1月、ようやく開場式を迎えます。この時『歌舞伎座復興記念 歌舞伎座』という本が、記念の出版物として刊行されました。カバーのデザインは、再建当初の第4期歌舞伎座の大間に敷かれていた絨毯の文様からとったもので、このたび新開場した第五期歌舞伎座の大間の絨毯にもこのデザインが再現されています。正面玄関から歌舞伎座に入り階段を上がると足元に広がるこの豪華な鳳凰の文様を、劇場で、あるいはテレビや雑誌などで目にされた方も多いと思います。この本はカバーも貴重ですが、第四期歌舞伎座の資料として、中身も大変読み応えのある書籍です。

第四期歌舞伎座はこれまでの歌舞伎座の中で最も息が長く、約60年間、ほぼ毎日何らかの興行が催されました。それだけに資料の点数も非常に多く、筋書(プログラム)、台本、写真など、当館でも相当数を所蔵しています。その多数の所蔵資料の中から締めくくりの展示として、第四期歌舞伎座の約60年の歴史をいろどった様々な興行の筋書(プログラム)を並べてみました。そして今回展示ケースに入らなかった思い出の歌舞伎座の舞台の、筋書が、台本が、写真が、ここ松竹大谷図書館にあります。ぜひ当館の閲覧室でご請求いただき、実際に手に取ってご覧ください。

#### ■「第四期歌舞伎座」関連資料展示一覧■

■図書『歌舞伎座復興記念 歌舞伎座』昭和26年1月 株式会社歌舞伎座出版部



■『源氏物語』昭和26年3月歌舞伎座上演 ポスター写真

■『源氏物語〔若紫の巻〕』昭和26年3月歌舞伎座上演 舞台写真

光君(九代目市川海老蔵=十一代目市川團十郎)、紫君(二代目市川笑猿=十代目岩井半四郎)

■『尾上菊之助改メ七代目尾上菊五郎襲名披露口上』昭和48年10～11月歌舞伎座 舞台面、台本、舞台写真  
(十七代目中村勘三郎、二代目尾上九朗右衛門、七代目尾上菊五郎、七代目尾上梅幸、十四代目守田勘弥)  
10月興行初日にのみ口上に出演した二代目九朗右衛門が写っているのが、初日に撮影したものと分かる

■『市川海老蔵改メ十二代目市川團十郎襲名披露口上』昭和60年4～6月歌舞伎座 舞台面、台本、舞台写真  
※写真は、口上の最後に演じられる、袴の肩を脱ぎ三宝を持って睨んでみせる市川家独特の「にらみ」

■「歌舞伎座開場九十年記念 吉例顔見世大歌舞伎」昭和53年11月 手拭、煙草

■図書『'88 歌舞伎座百年』昭和63年1月 松竹株式会社・株式会社歌舞伎座

■歌舞伎座筋書 ささまざまな公演のプログラム

昭和26年1月「新春初開場大歌舞伎」

昭和26年10月「十月興行大歌舞伎」『源氏物語』特集

昭和35年12月18日「第94回子供かぶさ教室」

※昭和27年から始まり現在も続いている、松竹と都民劇場による児童向け歌舞伎教室

昭和53年6月「十五周年記念 萬屋錦之介特別公演」

昭和54年12月「吉例第十三回大川橋蔵特別公演」

昭和55年8月「歌舞伎座連続出演二十周年記念 三波春夫特別公演 二十年を飾るさよなら公演」

※昭和36年から連続して20年間、毎年8月に行われていた三波春夫公演は夏の歌舞伎座の看板であった

昭和59年12月「十二月新派特別公演」

昭和59年8月「松竹歌劇団第3回歌舞伎座特別公演 SKD 東京踊り'84」

※昭和57年8月から歌舞伎座で公演を行うようになったSKDは、三波春夫公演に代わって、夏の新しい風物詩となった

平成2年4月28日「桂枝雀独演会」

平成2年8月「八月納涼花形歌舞伎」

※これまで歌舞伎座の八月興行は、三波春夫公演、SKD、新派などの公演が行われていたが、この興行から若手俳優を中心とした納涼歌舞伎公演が始まり、以後歌舞伎座では年間を通して歌舞伎の興行が行われるようになる

平成22年4月30日歌舞伎座閉場式



歌舞伎座開場九十年記念特集  
絨毯の文様を写して再現した表紙  
(今回は展示していません)

さてお待ちかね！ 歌舞伎座の座紋・鳳凰丸の珍しいデザインをご紹介しますコーナーです。  
 (中には違う鳥も混ざっているような…)



歌舞伎座筋書 大正 14 年 10 月



歌舞伎座筋書 大正 14 年 12 月



歌舞伎座筋書 大正 15 年 5 月



雑誌『歌舞伎(第二次)』 創刊号



歌舞伎座筋書 昭和 2 年 1 月



歌舞伎座筋書 大正 14 年 2 月



歌舞伎座筋書 大正 14 年 9 月



歌舞伎座筋書 大正 14 年 8 月



歌舞伎座筋書 大正 4 年 1 月



歌舞伎座筋書 大正 4 年 2 月



歌舞伎座筋書 大正 14 年 7 月



歌舞伎座筋書 大正 15 年 3 月

専門図書館協議会関東地区協議会主催  
立教大学 池袋図書館見学

2013年5月23日  
参加者：飯塚 美砂

立教大学本館図書館は、蔦の絡まる歴史的な建築で親しまれていたが、2012年9月に各学科の研究図書室まで統合した新図書館が新築され、「立教大学池袋図書館」としてオープンした。

新しい図書館は地下二階から地上三階まで。その上の四階以上は教授たちの研究室になっている。のべ床面積1900平方メートル、1520席、書庫は一部コンピューター制御の自動書庫も含め最大200万冊まで収納可能で現在の所蔵図書数は約100万冊である。

ガラス窓を周囲に巡らし光を取り込み、中央に吹き抜け、コンクリートの柱と煉瓦模様の壁、机や書架などの調度は基本的に落ち着いた色調の木材質、寄せ木細工のような幾何学模様の絨毯…と、大規模な図書館ながら品よく統一されて暖かみの有るデザインである。

壁際やちょっとしたスペースのあちこちには、とても図書館の椅子とは思えないホテルにあるような肘掛椅子や、カフェのような丸い椅子と机がおかれている。中には床に足の届かないカウンターチェアとテーブルまである。図書館でこれはないだろう、だれも使わんと、図書館の職員も思っていたらしいが、意外と人気でそのカウンターチェア愛用の常連もいるようだ。

人の出入りが多く開放的なフロアや、閲覧デスクが書架の奥にあり比較的静かなエリア、背の高い書架に囲まれた“島”と呼ばれているらしい大きな円形デスク、地図などを収めているアトラス架や、大型本を広げられるロフト架、大量の図書をブックトラックで運んで閲覧できるブックトラック席、所蔵DVDを閲覧できるブースもあり、さまざまな表情を持つ。館内では利用者は図書を持って移動し、自分のお気に入りの席で閲覧することができる（貴重書を除く）。

また、主動線のフラット化、多目的トイレ、電動昇降機などバリアフリーへの配慮も行き届いている。

図書館の入口にはタリーズコーヒーが出店しており、各階には飲料の自販機があり、ドリンクの持ち込みは可能（“歩きながら飲まないでね”という注意書がどこかに貼ってあるのを見た気がする）。地下のリフレッシュルームにはパンの自販機もある。3Fにはテラスがあり、リフレッシュルームとテラスでは飲食、電話使用も認められている。

書架のあいだや窓辺に点在する閲覧デスクのほかに、20人から100人くらいの会議や授業、ミーティングに使用できるグループ学習室が8室（予約制）と、仕切りのない広いスペースに自由に机と椅子をレイアウトして使えるラーニングスクエア（予約不要）があり、覗いてみると、それぞれなかなか活発なディスカッションが進行中。閲覧用のパソコンデスクに100台、グループ学習室に100台のパソコンが備付けてある他、300台のパソコンが貸出せるようになっており、ここで借りたパソコンは館内どこへでも持って行って使用できる。学生のデータは大学のサーバーに保管されているので、各人、どのパソコンでも自分のデータにアクセス、保存できる。もちろん自分のパソコンも持ち込み可能で、モバイルの使用も可能。充電も自由にできる。プリンターも各人年間使用枚数の制限内で利用すれば無料らしい。

知的支援体制も整えられていて、館内で使われるパソコンのガイドやメンテナンスは、コンピューターメディア学科の学生（アルバイト）、論文やレポートの書き方指導のために院生（アルバイト）が常駐して相談に応じている。OPACの使い方指導などのため、年100回ほど講習会を催している。通常の図書は1冊のみ所蔵だが、大学図書館ならではのシラバス図書は複数冊所蔵され、見やすいようにコーナーを設けて配架されている。また地下1Fの展示コーナーでは小規模ながらテーマを設けての展示が行われている。

学究の場として堅苦しいイメージのある大学図書館にしては、やたら居心地よさそう！と思ったら、この図書館の掲げるコンセプトのひとつは「滞在型図書館」。開館時間も、基本、平日は朝は8：45から夜22：30まで、年間326日の開館を予定している。

なぜ立教大学がそこにこだわるのか、それはこの大学ならではの事情がある。立教大学はキャンパスが狭く人口密度も高い。学食も狭いし、研究室も部室も狭く、学生は授業が終わると行く場所がない。そんな学生諸君に有意義で快適な学生生活を提供したいという思いがあったという。飲料持ち込み可か不可かは、両意見あり揉めたというが最後は図書館長の決断によって可とされた。開館して一年弱、一日平均7000人以上の利用があり、試験期間には1万人を超え空席なしの状態の日もあるという盛況ぶりは、大学側の意図を十分に生かした結果であろう。日長一日ここにいてもいい、いられる、ずっと居たい図書館である。

■ 訃報 ■

5月6日、早稲田大学名誉教授 河竹登志夫先生が逝去されました。88歳でした。本年3月の歌舞伎座開場式で狂言名題を読み上げられ、河竹家の当主としての責任を果たし、歌舞伎座の再開を見届けて旅立たれました。

河竹先生には当館の理事に昭和44年（1969）から平成23年（2011）までご就任いただき、長期にわたって図書館の運営にご尽力賜りました。また、新作歌舞伎の脚本に贈られる「大谷竹次郎賞」の選考委員も昭和49年（1974）より亡くなるまで勤めていただきました。

河竹先生より当館に賜りましたご厚情に感謝し、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

■ 公益財団法人松竹大谷図書館へのご支援のお願い ■

公益財団法人松竹大谷図書館は、演劇・映画の専門図書館である松竹大谷図書館を運営し、所蔵資料を広く一般に無料で公開して、芸術文化の振興と社会文化の向上発展に寄与することを目的とする事業を行っております。

当館の使命である、資料を収集・整理・保存・公開する図書館事業を確実かつ永続的に達成し、さらなる社会貢献をしていくために、寄附金を募っております。

**公益認定を受けた財団法人への寄附金支出者は税制上の優遇措置が受けられます。**

何卒、ご理解とご賛同をいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

● 現在ご支援いただいている方々（了承を得た方のみ掲載）

2013（平成25）年5月にご支援いただきました

法人・団体（50音順・敬称略）

株式会社衛星劇場

株式会社歌舞伎座

歌舞伎座サービス株式会社

歌舞伎座舞台株式会社

松竹株式会社

松竹衣裳株式会社

株式会社松竹映像センター

松竹音楽出版株式会社

松竹芸能株式会社

株式会社松竹サービスネットワーク

株式会社松竹マルチプレックスシアターズ

公益財団法人 昭和池田記念財団

個人（敬称略）

油谷晁

どうもありがとうございます



- 利用案内 ●
- 開館時間 ●
- 平日午前10時～午後5時
- 休館日 ●
- 土曜日、日曜日、祝祭日、毎月最終木曜日、5月1日、11月22日、年末年始、春期 夏期 特別整理期間
- ※その他、臨時休館のある場合は一ヶ月前から館内及びWebサイトに掲示します。
- 入館料 ●
- 無料
- 交通案内 ●
- 東京メトロ日比谷線、都営地下鉄浅草線 東銀座駅5番出口より徒歩3分
- 東京メトロ有楽町線 新富町駅1番出口より徒歩8分

